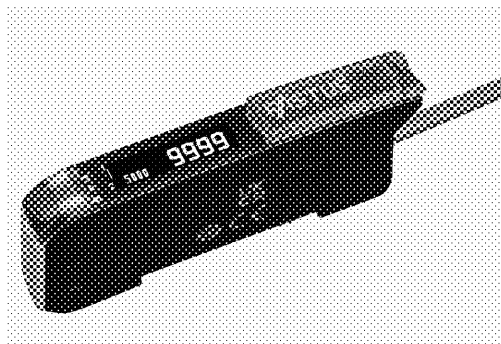


# 有機EL画面で見やすく

## オプテックス・エフエー



デジタルファイバーアンプ「D4RFシリーズ」(オプテックス・エフエー提供)

### 5カ国語に対応

ファイバーアンプは、ファイバーセンサーの光源。同センサーは、アンプからの光を光ファイバーにより伝送すること、検出機能省スペース化させ、狭い場所での設置に適した光電センサー。半導体業界や電子部品業界向け製造装置などで利用される。

D4RFシリーズは

日本語、英語、中国語(簡体字)、韓国語、スペイン語の計5カ国語で設定画面を表示できる。これまで、ファイバーアンプは数字と簡単なアルファベットしか表せない7セグメント表示が一般的だった。他社の従来製品と比べて価格を2割程度抑えた点も特徴だ。センサーの検出能力強化により、従来機種D3RFシリーズと比べて検出距離は約2倍の2845 $\mu$ mに向上した。センサーネットワーク技術の国際規格「IO-Link」に接

## ファイバーアンプ 検出距離2倍

【京都】オプテックス・エフエー(京都市下京区、中島達也社長)は、有機ELディスプレイを搭載して視認性を向上させたデジタルファイバーアンプ「D4RFシリーズ」を4月下旬に発売する。ディスプレイ画面は5カ国語表示に対応。センサーの検出能力も強化し、検出距離が従来機種比約2倍に向上した。消費税抜きの価格は1万2800円。半導体などの製造装置メーカーに提案し、年間10万台の販売を目指す。

続でできる単独型と、最大16個のアンプを連結できる連結型の2種類を品ぞろえする。

D4RFシリーズのサイズは幅10・5 $\mu$ m×奥行79・15 $\mu$ m×高さ33・2 $\mu$ m。今後、需要が見込まれる三品(食品・医薬品・化粧品)業界向けにも提案する。